

ぼくのひいおばあちゃん

いせはらしりついでいせはら小学校

一年しばおうき

ぼくのひいおばあちゃんは、ろうじんホームにいます。ひいおばあちゃんは、ひとりであることができません。ずっとベットでよこになっっているときもあります。ぼくは、ろうじんホームのちがくにすんでいるけれど、あまりあえません。なつやすみには、いっただけあうことができました。なぜかというこ

ええるひがきまっ、ていて、よやくもしないといけなからでず。いつでもあえるあけではなから、ひいおばあちゃんもかなしいとおもいます。それに、ぼくのことをすこしあすれてしまっ、ているときもあります。だから、ぼくは、あうとかならざ、

「ぼくはおうきだよ」

というようにしています。それに、ひいおばあちゃんがたのしいきもちになるように、ともだちとなかよくでまることや、この

こと、ならりごとでできるようになったことをはなしています。

ぼくは、これからも、なるべくたくさん友いにいきたりとおもいます。そして、やさしく、

「だいじょうぶ。げんきだったよ」ときいて、たくさんおはなしたいです。あえなりとまも、ひいおばあちゃんがかみしくならりように、おてがみをかいたり、しんをもちていたりしたいです。

そして、ほかのおとしよりのひとにも、ぼくができることをみつけて、やさしくしたいです。